

【その他の意見と自由意見】

【注意】

ここに掲載しているご意見は、個人のご意見であり、可能な限り原文のとおり全文を掲載しています。ただし、個人の特定につながる表現等については、一部修正しています。

【問6】 適正化の協議に当って望ましいと思う進め方および学校規模の適正化の案

○望ましい進め方に対するご意見

- ・専門的な知識をもった教育委員会が、責任をもって案を作成すべきです。作成にあたっては、参考とすべくヒアリング、意識調査をする。
- ・教育委員会の意見と保護者や地域の方との意見、それぞれの話を聞いて、しっかり検討していきたい。
- ・「教育委員会が案を提示し、保護者や地域の方と一緒に検討する」協議方法で進めるのが良いと思うのですが、その中で保護者や学校に通学する小・中学生の方々にも、話をしていただく機会があればと思います。
- ・案を提示するための調査検討部会の設置。

○学校規模の適正化の案

- ・先進的に、南中・丹波小・柳田小等を統合して、小中一貫校を進める。
- ・指宿市で、小学校3校、中学校2校
- ・案かどうかは分かりませんが、北中の地区割りを考えてほしい。例えば、西中が見えている所から、北中に行かないといけないなど。指宿小と魚見小は一緒でもいいと思います。
- ・今和泉小、池田小、西中を小中一貫校として、既存校の西中に設置する。
- ・山川・開聞地域については、両地域で小学校1校、中学校1校が良いと思う。指宿小校区も適正規模校ではあるが、近隣地区は小規模校であるので、統合の検討が必要と思う。
- ・学区制をなくしてもよいのでは？と思う。後、特認校も検討しても良いと思う。
- ・他府県の事例も参考にしたい。

【問7】 その他、自由なご意見

- ・方針決定まで時間がかかりすぎると思う。子どものためにも、地域のためにも、早く方針を示してほしい。
- ・学校自体がなくなってしまった地域が、寂しくなるとよく耳にしますが、その建物自体を、その地域のコミュニティ施設となる設備として活用していけば、その地域に住んでいる児童生徒も、参加してもらおう方向に継いでいけるのではないのでしょうか(地域住民との交流・活性化)。子どもたちだけでなく、保護者の方々の広がりも生まれ、活性化されると思う。もちろん弊害もあるのでしょうか(不参加方の人もあるので)が、集団の中で色々な考察力を養う意味では良いのではないかと思います(少人数が悪いというのではないけれども)。人間は色々な色をもっていて当たり前、認め合うことが大事なのは。

- ・過小規模校の対応を早急にしてほしい。
- ・池田は適正化の反対の声が大きい。声は小さいが、適正化を図るべきだと思っている人も多いと感じている。
- ・特に、西中の早期統合を望みます。資料は、詳細は説明資料とした方がよい。
- ・過小規模校の解消は、本当に重要な課題であると思います。やはり、児童数が少ないと、自己主張の弱い子に育つのではないか？コミュニケーションの取り方など、戸惑うのではないかと、親としては、心配な部分が拭えません。意見はそれぞれあり、まとめるのは大変ですが、「子どもたちのために最善の学校づくりを！」というのが、どの親からしても一番の願いであると思います。これからも止まることなく、それぞれに出来ることをやっていきたいと思います。実現へ向けてよろしく願いいたします。
- ・中学校に行ってから部活動の選択枠が少ないというのはかわいそうに思う。他の中学校の部活動に入りたいと思っても、学校の校長先生次第と聞きました。この部活動については、教育委員会でも話しに入っていけないところだと言われました。もっと、保護者や生徒に耳を傾けて、意見を聞いてほしいと思います。
- ・学校規模の適正化をすることによって、学力を競い合う相手もたくさんいて良いと考えている。
- ・必要な理由について、箇条書きで分かりやすく説明してほしい。指宿地区内の小規模・過小規模小学校の魚見小、今和泉小、池田小と南中の将来的な姿を考えていく必要があると思います。山川・開聞地区の学校規模の適正化が終わる前に、進めてほしい。柳田小の中学校の通学区分については、ぜひ早く進めてほしい。
- ・時代の流れで、その時代に生まれて受け入れていかなければならないこともあると思います。20年後、30年後を考えることは大切であると思います。子どものためになることは、進めるべきだと思います。
- ・子どもたちには集団の中で学習させ、社会に出たときに適応できるように「生きる力」を身につけさせたい。したがって、一貫教育の必要性はあると思われる。
- ・柳田小OBです。南中に行くのが嫌でした。怖かった。丹波に飲み込まれる感がありました。不登校になる気持ちが分かります。
- ・市全体で考えた時に、学校規模の適正化は必要だと思った。2中学校に分かれて進学している現状を、何とかより良く解消していただきたい。
- ・10年後、3割減少の予測だが、その先も減る可能性が高いと思うので、どうせ集約するならば、もっと思い切って統合したらいいと思う。学童保育も同時に考えていただけると有難い。
- ・現在は指宿校区で、すぐすぐ小規模・過小規模になる見込みはないのだが、いずれは見込みがあるということでした。学校・教育委員だけではなく、指宿市単位で、何か人口増加になるような動きをしているのでしょうか？温泉・観光のみになっていないのでしょうか？温泉観光にしても、とても広告宣伝が他県に比べて弱いと思う。他に大学誘致だったり、工場誘致等、町に人を呼べる方法も考えてほしい。学校・教育委員だけではなく、根本的に変革が必要だと思う。
- ・分かりやすい説明会でした。指宿市の将来を担う子どもたちの教育は、非常に大事です。

今後も頑張ってください。

- ・とても分かりやすい説明で、よく理解できた。地元の方々を納得させるとなると、かなり大変であるが、小中一貫にするメリットと小規模校を存続させた場合の維持費などを算出して、比較と税の軽減や、一貫にした場合の経費削減のこと等も伝えれば、もっと納得してくれるのでは？と思う（金銭面のメリットも）。先進地事例も紹介があれば、分かりやすいかも。
- ・小中一貫教育はあっていいと思います。自分も中一ギャップはありました。とっても不安だったのを覚えています。
- ・来年、池田小に2番目が入学します。聞いたところ、2人しかいないとのことでしたが、初めての小学校に入学するので、複式にはしないでほしいです。
- ・今後、小中一貫教育を推進するのであれば、指宿地域においても、校区再編について着手していった方が良く思う。
- ・山川・開聞の意見がまとまらない状況の中、先に先進事例をつくったらどうでしょうか。
- ・校区再編は、市・地域全体で取り組むべき。
- ・今回、このような説明会に参加し、市教の考え方、最新の情報等をホットに聞くことができ、感謝しています。ありがとございました。少しだけ感じたことは、内容が始め、保守的に感じました。子どもが少なくなっていくのは市民は分かっていることなので、指宿から世界を動かすような子どもたちが育つよう、もっと上向きで未来経済を考えた超最新の学校、教育づくりになるといいと思います。子どもたちは皆、地球人という意識になるといいですね。応援しています。
- ・まずは中学校を再編してから、小学校を徐々に再編していくという方法もあるのでは。
- ・山川・開聞地域では小学校1つ、中学校1つに。指宿地域も中学校1つ。
- ・私は小学低学年から県内ですが、近所の教室に通い、ゲーム・歌を外国人から習っていました。国際的なこと、文化も学び、大人になり留学もしました。小さい頃からもっと、外国人との接点をもつ機会をもつべき。小中一貫教育は理解できた。以下、指宿地域についてですが、施設分離型を指宿地区で推進するのはどうかと思う。何かしら統廃合をして、同じ施設内で一貫教育していくのが効率が良いと思われる。この人口において、小中学校の数は多いと、他県から移住して違和感がある。中学校を2校（北中・西中）に、小学校を2校（指宿小・丹波小）にまとめるべきだと、日頃から思っている。スクールバスと、通常のバスルートを統合した考え方もあると思う。
- ・「小中一貫教育」について、私は大賛成です。子どもたちの発達の過程、成長においても、最も望ましい事だと思います。今和泉小学校、西指宿中学校は小規模校ですが、先生方、地域の方々に見守られ、小規模校における最大の恩恵を受けていると、子どもを今和泉小学校に預けている保護者の一人として、感謝しています。西中の子どもたちは、全体的に成績も良いようです。これは、小学校からの「積み重ね」だと思います。また、西中の子どもたちは少人数なので、一人一人が主役としてがんばっています。それは、小学校時代、先生方は地域の方々から大切に育ててもらったからだと思っています。このすばらしい地域で育った子どもたちが大きく羽ばたいていけることを祈り、また、希望しています。そして、今小・西中の子どもたちは「ふるさと」を忘れない心を持った子どもたちが育って

いることと思います。地域の方々のお力を今小・西中の子どもたちのためにお貸しください。

- ・小中一貫教育は、はっきり言ってよくわかりません。今日、話を聞いて、必要性もあるような気もしますが……。1クラスの人数が少ないので、子どもたちのいざこざも多いし、クラス替えなどあった方がいいと思うところもあります。少人数だからといって、先生方が目が行き届いているようにも思えません。一貫教育も大切だと思いますが、もう少し子どもの目線で話を進めてほしいです。よろしくお願いします。今日はありがとうございました。
- ・小中一貫教育のことは、言葉では理解できたが感覚的には、やはりあまりよく分からない。学校規模の適正化については、必要であると思ったが、通う負担どうなのかなとは思った。
- ・水泳大会を中学生も一緒にしてみたり……。など、例えば、こういう行事をこのように進めたらどうか……。など、提案してもらえるとイメージがわきやすく、一貫教育への楽しみも感じる事ができそうと思いました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。
- ・小中一貫教育も大事なことはよくわかるが、同じ中学校へ通う小学校同士の交流もあると中学校へ行った時にもスムーズに入っていけるのではないかと思います。
- ・小中一貫教育はいいことなので進めてほしい。適正化は、今後、検討が必要になってくると思う。
- ・池田小・今和泉小・指宿小を1校か、柳田小（魚見小）を1校のどちらか。大成小・山川小・利永小を1校、開聞小・川尻小・徳光小を1校。この6校で1校もあり得る。開聞中・山川中を1校。西中・北中を1校。柳田小は全員、地中へ。
- ・全国の基準に合わせて、ある程度の適正化は必要だと思いますが、この地域、環境でしか育めない教育もあるのでは？と思います。児童生徒数が少ないから、教員数を減らすというのは、それ自体が納得いかない気がします。校区を取り払って、進学する学校を選ぶということはできないのでしょうか？小中一貫にしたところで中学への分は減っても、学習の修得はやはりきめ細かい、手厚い教育なのではないのでしょうか。人数、規模も大事ですが、方法も大事だと思います。
- ・小学校低学年における外国語活動によって、英語に少しでも触れているほうが苦手意識がなく、英語への学習を本格的に取り組めるのは良いことではないかと思いました。各教科の9年間の系統性を踏まえた授業というのは、今までの授業と何が違ってくるのでしょうか？中期における教育活動の実践というのも、今までと何が違うのか、よく分かりませんでした。小中一貫教育とは言っても、施設分離しているので6・3制と同じく、中学1年生で環境は変わるので、施設分離型の小中一貫教育の必要性をあまり感じませんでした。
- ・（１）小中一貫教育について：9年間を見越した教育課程の作成は必要だと思う。先生方の負担等も考えて、中長期的に変更していくことが望ましい。先生方の乗り入れは、旅費負担が市で行うことになると思うが大丈夫？（２）適正化について：学校の規模は、子どもにとっての適正規模であってほしい。小さい学校がいいという子もいるし、大きい学校もいいという子がいる。
- ・人口減少で仕方がないことかもしれませんが、子どもたちやPTAの方々の考えをよく聞

いて進めてほしい。特に、子どもたちの友人関係も大切なことですので、慎重に進めてほしいが、現状は早くなるのかなと思います。

- ・丹波の校長先生のお話がとてもよく分かった。
- ・なかなか、こういう場で、特にお母さんたちが発言するのは難しい。出前講座をもっとPRし、保護者・地域の方たちが、ざっくばらんに話ができる場面を多く増やせば、色々な話を聞けたり、議論が深まるのではないかな。
- ・今後の方針が変更できるのか？決定したことなのか、方向性を示してから話し合いをもっとほしい。
- ・「議事録」をまとめて公開するのは、今のご時勢、当然のこと。各校区ごとのアンケート結果及び協議、結果は必ず公開する必要がある。公開しないとなれば、「情報公開請求」も考えている。
- ・望ましい学校づくりの基本方針を考えて行ってほしい。
- ・問題点を十分に検討を重ねて、児童生徒の指導上、支障のなきよう配慮されることを望みます。
- ・外国語も必要ですが、ネット社会なのでPCの勉強も必要と思います。教育する側の親の勉強会も必要だと思う。ステージの手前のテーブルに誰も座らないのでしたら、プロジェクターをもう少し前に持ってきては。スクリーンは字が小さく見えない。
- ・放課後の器も必要（共働きのなど）。
- ・学童、放課後のあり方について考えてほしい。学校側も日々の授業など大変で、なかなか放課後まで目を向けられないと思いますので、ぜひ市の方で取り組んでいただきたいと思います。色々と自分なりに調べ、学校で過ごす方法などあると思います。子どもを増やすために、保護者が過ごしやすく、働きやすい環境をもう少し考えてほしいです。放課後、特に長期休みに子どもをどうするかを考えると、不安になることがあります。
- ・「外国語教育」とは、英単語・文法を覚えるだけの受験用の教育を目指すのではなく、異なる言語・異なる文化を持つ方とのコミュニケーション能力を育てることを目指すだと思います。低学年の外国語学習が15時間しかなくとも、やり方によっては大切なことを学べる機会となり得ると考えます。
- ・小中連携教育での先生たちの移動についての提案です。先生たちがわざわざ移動しなくても、N T Tなどで行われているICTコミュニティなどを活用して、タブレットや大型スクリーンなどで、遠隔地からの授業などはどうでしょう。ここまでメディアなどが進んでいるのだから、活かしてもらいたいです。
- ・なかなか説明会を聞いても、人数も集まらないので、学校授業の中（PTA教育講演会）などの時間を使ったり、地区行事で時間をつくってもらい、より多くの方に聞く場をつくってもらいたいです。そうすると、色々な意見やアイデアをいただけるのではないかなと思います。
- ・通学距離が長くなる生徒の場合、スクールバスの運行を検討しているのでしょうか（学校規模の適正化後）。
- ・公民連携の視点に立ち、小学校運営をしてみてもどうでしょうか。P F I 事業等を活用することもありますし、もっと柔軟に考えてみてはどうでしょうか。旧指宿地域において、

唯一、山間部にある小学校として、立地性を活かして防災拠点（市全体の）としての公共施設の位置づけをしてほしい。

- ・机の上だけでなく、現場（学校）に足を運んで理解して、今後の話し合いで良い学校づくり、より良い考え方を進めてほしいです。本日は、ありがとうございました。
- ・小中一貫教育について、どうなるかはっきり説明がされなかったのでは。人口減は仕方ないことだ。対象者の減少は仕方のないことで、子どもたちを増やすこともできないでしょうし、適正から小規模→過小規模になるのでしょうか。小中一貫、新しい施設をつくることになった方がよいのでは？柳田校区小学校について、近いうちに過小規模校となるでしょう。説明を聞けば聞くほど、仕方なく、一貫教育を説明しているように感じる。
- ・小学校低学年からの外国語導入はいいことだと思う。休みの期間中にALTの先生による、イングリッシュクラスの日数を増やしてほしい。英検対策（2次）のクラスは、中・高生のための参加となっているが、英検受験の低年齢化に伴い、小学生も参加できたらいいと思う。
- ・外国語教育よりも正しい日本語（敬語、漢字、書き順、丁寧語など）をもっと大切にしてほしい。
- ・指宿小は、ちょうどいいくらいの人数だと思っています。学校教育とは違うかもしれませんが、地域に体を動かして遊べる場所が欲しいと思っています。
- ・学校が統合されて、メリット・デメリットそれぞれあると思う。子どもたちも小規模の方がいい子、大きな学校で学びたい子、それぞれだと思う。「適正化」って、人それぞれ違うので決められない。
- ・教育長の冒頭の話で、「きれいな英語」という言葉が多く聞かれました。「きれいな英語」とは何ですか。最低通じればいいのではないですか。「きれいな日本語」などの話がなかったのが残念です。英語を母国語とするアメリカは、広島・長崎に爆弾を落とし、沖縄を自由に使っている。
- ・過小規模校の教職員は、とても多忙です。生徒にも影響があるので、市の予算で特別支援の先生を増やしてほしい。大規模校、小規模校に教育を受ける差別化を解消してほしい。平等にしてほしい。小学校もふるさとの一つだと思います。ふるさとをなくして、指宿を愛せるのか？いぶ好き？なれるのか？
- ・小中一貫教育で、中学校の先生方の負担が増えることのないように配慮していただきたい。
- ・小中一貫教育の際に小学生側が受けるメリットはありそうだが、中学生が受けるメリットはそれ程無いように思われる。更に、小中学では、それぞれ、教え方、接し方が違うように思われるが、教職員の負担につながることはないか心配もある。
- ・小中学校の職員の意見を聞いてもらう場をつくってほしい。
- ・支援学級について、小中一貫になると、どうなるのかも知りたい。
- ・小中一貫教育について大体分かったが、具体的なイメージが掴みにくい。
- ・すべての意見は受け入れられないので、どこかで閉める方もよい。学校規模がよくて、転校・引越して来られた方もいると思うので、小さいところがよい、大きいところがよい、魚見小はよいが、子どもにとって何がよいかわからない。
- ・要するに、合併という事ですね。

- ・「望ましい学校づくり」の話は、今回で3回目になりますが、今までに出た質問をまとめて、「前回、このような質問がありました」、「これに対しては、このような答えを出しました」とか、簡単な文書を付け加えてほしいと思いました。何を質問したらよいのか分からないので、何も言えないと思います。ただ、説明を聞いただけで終わりのように思います。質問したことが反映されるのでしょうか。「統合することも大事ですが、育てやすい環境を先に考えるべきでは？」とか、色々出た質問は、そのままスルーされているようにも思われます。まだ9月の時点で決まっていないとの事だった話が、平成33年を目途に山川の4校が1校に、とか、2ヶ月そこらで、しっかり決まるのですね。その事に対しても色々保護者からの意見はあったと思います。説明の日時が不適切。
- ・小規模校がいいと思っている保護者が多いので必要性を感じない。いじめ・不登校は、小中一貫にした所で、根本的な問題解決しないと何も変わらない。この問題と一緒にしたらいけないと思う。「望ましい学校づくり」という題が、そもそもピンとこない。保護者は、こんなことが知らない間に進んでいるなんて思っていないと思う。なぜ、小中一貫教育を進めているとすぐ分かる題名ではないのですか？
- ・いぶ好き学は、わざわざ授業でしないと育まれないのだろうか？と思いました。教育のあり方も大事だけど、登下校が心配です。歩道が狭くて怖いです。
- ・分離型で進める場合、合同で活動を進めるためにかかる時間の確保のために、土曜授業日数が増えたりするのですか？当事者である子どもたちへの聞き取りや、調査など行うことはあるのか。
- ・学力向上が課題であると言うが、なぜ向上しないのかが不明。
- ・先に取り組んでいる地域を例に、いくつか挙げてもらいたい。同じくらいの人口、柳田小のように分かれるなど。
- ・適正化に伴い、特別支援教育の充実（学級の設置（知、情他）、通級の充実、コーディネートの配置、スクールカウンセラー、SSW支援、支援員の配置と活用）が、しっかり行われてほしい。（現在、困っている子どもたちがたくさんいます。）小中一貫校は、全地域で行うんですよね。南指宿中は丹波小、柳田小となるのでしょうか？管理体制、職員配置、学校としての組織、経営状況等は現状と変わるのか？分離型での連絡の具体的なやり方は？現在の小・中学校の連携はどんななのか。足りないのかなど知りたいです。
- ・国の案になるべく合わせた「学校規模の適正化」のように感じました。家庭の立場や生活からの説明がないことが、すごく気になります。子どもを学校に行かせながらの生活が、どうなる可能性があるのかなどを示してほしいです。
- ・意見にもあったとおり、6・3制と4・3・2制が分かりづらい。6年卒業、中3卒業ではなく、前期終了、中期終了、後期終了でも良いのかなと思う。
- ・「適正化」という言葉が少し引っかかるなあとおもいました。現状は、適正でないと言われているのと同じなので。後、子どもの意見は聞くべきだと思います。アンケートが難しいのであれば、話し合いや作文を書いてもらうなど、方法を工夫して。教育委員会の事務局の熱い思いが伝わる説明会だったと思います。以前（H26?）にあった説明会は、とても事務的な感じだったので。
- ・マイクがよく聞き取れなかった。指宿は北中スローガンだけにならないように。

- ・用語は正確に（こじ付け・言葉遊びは子どもに不用）いぶ好き→いぶすき，他にも市長と語ろ会→語る会，日本語は正しく使ってほしい。
- ・この件に対して，子どもの考え方も聞いてみたい。
- ・財政的に厳しいんだなあと。
- ・この説明会に，たくさんの住民の方の出席がほしいですね。特に子どもさんのいらっしゃる方々。
- ・とても分かりやすい説明でした。資料について，少し見辛い印象を受けました。目次や会次第，時間配分等があれば，もっと良いと思います。
- ・説明に用いていた資料が分かりやすいと思うので，参加者に配布していただけるとよかったですのでは？
- ・小中一貫教育をしている学校の状況など，具体的に教えてほしいと思いました。
- ・参加者が少なく驚きました。このような中でのアンケートでは，市民の意見が反映されるのか心配です。乳幼児のいる家庭や地域の方々を含め，幅広くアンケートを行うことはできないものでしょうか？各会場で出た意見やアンケート結果も含めて，基本方針について広報紙等で市民に周知してもらいたいです。学校規模の適正化については，他市町村における事例等も紹介してもらえると，分かりやすいと思います。統廃合をした場合の，廃校跡の活用方法や地域のあり方等を知ることができれば，不安も減るのではないのでしょうか？市民に周知する際には，過小規模校・小規模校，そして適正規模校，それぞれのメリット・デメリット等を分かりやすく紹介してもらいたいです。
- ・地域にとって，小学校は必ず必要である。説明会の中で出された，保護者や地域の声をしっかり素案に反映してほしい。説明会の質疑の情報公開を必ずしてください。アンケートがえんぴつで記入するというのは，どういうことだと思った。何度でも説明会をしてほしい。
- ・学校がなくなった後の地域のあり方（消防団などの防災活動，子どもとの関わりなど）について，時間をかけて検討してほしい。
- ・①指宿市内に小学校1校，中学校1校は，大規模校になじめない子供たちを受け入れる学校があってもよいと思う。②望ましい学校のあり方については，地域住民がじっくり語り合うことが大事だと思う。
- ・丹波校区は確かに少人数にはなっているが，現在は6学年とも3クラスあるので，必要ないと考える。指宿に企業ができるようにして，若者が県外に出て行かないよう定着させ，子どもを増やすよう努力してほしい。年間500人の人口減を少なくするよう努力してほしい。
- ・過小規模校でも学力の向上，体力の向上，全く不安を感じなかった。人口を増やす努力を。
- ・望ましい学校づくりは，協議を進めなければならないが，同時に人が住みたくなるような，魅力ある地域づくりをしないといけないと思う。若いお母さんたちが動いていることに協力したい。
- ・今どこの地域でも子どもが少なくなり寂しさを感じる。少子化をどうにかして止められたらよい。
- ・地域創生に向けて，人口を増やす方策について市民が語り合う場があってもよいのではな

いか。今回の説明会について、市広報がなされたと思うが、ほとんどの人が知らないようであった。各公民館宛に文書を出し、参加要請をすべきではなかったか。そうでないと、市教委が勝手に進めているということになりはしないか。指宿市の今後の未来のことなのに、参加者が少ないことに残念に思う。どうにかならないものかと思う。

- ・市民を増やす努力をしたい。なるべくなら、学校数は減らしたくない。市民、そして市を出て行った元市民も巻き込んだ、議論ができる環境をつくっていききたい。
- ・人数の多い南中は現在、不登校が多いと聞きます。その不登校生を減らす一つの策かとも思いますが、逆に大きくなれば目が行き届きにくくなることもあることが不安です。英語を1年から始めると言うが、時間数が少ないと思う一方、日本語をしっかりしてからでもいいと思う。
- ・「小規模校でよかった。」という話もよく聞く。「適正」という言葉が気になる。保護者や子どもが、適正かどうか判断するもので、検討会が判断するものでもなく、どうなるのかなと思う。保護者や地域住民等の意見を、十分生かしてもらうことをお願いします。
- ・少人数の良さをもっと出してほしい（デメリットばかり強調）。そうでないと、公平な議論はできない。また、学校単位ではそれぞれの学校が、それぞれの立場でしか判断ができないので、学校区の枠を超えた議論の場があってもいいのかなと思います。
- ・地域にあつての学校である。児童・保護者・住民がよく分かり合え、元気の出る地域であってほしい。まだまだ小さい学校は元気である。世の中は変わっている。小なりと言えども、捨てたものではないと思う。
- ・確かに池田小は人数は少ないですが、私の子どもたちは伸び伸び、他の学校の子どもたちと同じように成長しています。今、特別、何かに困っているわけではないです。目の前の子どもが、それを明らかにしてくれています。少ないから・・・ではなく、目の前の子どもたちを見てほしいです。歩いていける距離にある学校が一番ベストだと思います(小学校)。学校をゆくゆくなくしてしまうと、池田は過疎も進むと思います。
- ・小中一貫教育を行った場合、他市・県に転校した場合、子どもは勉強についていけるのか不安。人によっては、過小規模校で教育を受けたいという方もいると思います。そのように考えている家族も多いと思います。そのため、過小規模校の良い所を全国的にアピールを行うことで、転校生も増えて統廃合も防げるのではないかな？
- ・適正規模ありきで、1校に集約や小中一貫教育のメリットだけが前面にあったように思う。過小規模校のメリットもある。
- ・小学校はできる限り残してほしいです。子どもの声がなくなるのは寂しいことです。
- ・私自身、小さな学校で小・中学校時代を過ごしました。そのことで、社会に出て不利益を受けたこともなく、劣等感などももったことはありません。小さい学校のデメリットの説明については、十分に配慮してほしいと思う。望ましいという言葉が多く資料に出てくるが、文科省が言っているからではないか。実際の学校教育は、1学級の人数が21～27名でなくても、2学級以上でなくても、すばらしい学校はたくさんあると思う（スライドの表の中にバツがあつたのは気になった）。事務局が、70年前とは子どもの成長は全然違うと言っていました。本当にそうでしょうか。発達については、一人一人の特徴など知って、対応していくという点では進んでいると思いますが、一般的な発達は70年前の子どもたち

も、現在も同じような部分は多々あると思います。予算に関わることが大きな理由なのなら、はっきりとそこを説明した上で、より良い教育を行うための話し合いをすべきではないでしょうか。山川や開聞地区の方々は、もう少し時間をかけて話し合いたいと思っているのではないのでしょうか。

- ・子どもたちが減っていることに対して、対策はとらなかったのでしょうか？少子化→学校再編にすぐ繋がるのが納得がいきませんでした。「いぶ好き学」は正直、自分の子どもたちには必要ないと思いました。総合的な学習の時間の、本来の趣旨からずれているように思います。考える力をつけさせる力を身につけさせてほしいです。
- ・今、孫が小学校に通学しています。1年入学して心配でしたが、上級生の子どもたちが支えてくれて楽しく過ごせています。
- ・校区再編より小中連携を望む。
- ・マイナス要因の話題で寂しい気持ちになった。楽しい話題（プラスがプラスを）。みんなが参加できる方法を考えてほしい。
- ・地域に学校があるかないかは、地域づくりに大きな問題。
- ・英語教育が成功することを望みます。柳田小（北中・南中問題）がどうなるか、少し不安を感じました。
- ・北中は、特に、小学校3校が集まっているので、保護者として不安がある。
- ・学校規模適正化をすることで、地域の過疎化が進む心配の方が大きい。
- ・柳田小が、北と南に分かれることだけは避けてもらいたい。
- ・中学校区単位で考えれば、柳田小をどうするのが気になる。中学校単位で目標を掲げることも大事だが、市として関与して統一した目標にできないのか。指宿地域の取組で、池田校区・今和泉校区のあり方も早急に検討に入ってもらいたい。中学校を活用した、施設一体型の小中一貫教育は考えられないのですか。
- ・池田小は子どもの陸上記録会や水泳大会は、今和泉小などと合同で選手を出せばいい。2名ぐらいしかいないため。
- ・小中一貫教育のメリットがよく分からず、現在の池田小を見てほしいと思う。もちろん友達が少ないなど、競争率がないなどあります。その中でも地域との関わりなど、子どもたちが成長するにあたって、とても助かっています。
- ・小規模校や複式学級がそんなにいけないのか、いくら説明を受けても納得できません。それは、目の前にいる子どもたちが生き生きとしているからです。学力もそれほど劣っているとは感じません。池田小はなくしてほしいです。
- ・大変不安。違うやり方はないのか。説明を聞いて、とても不安になりました。池田小、西中はそのままが良いと感じました。子どもたちは素直！挨拶も西中の子はしっかりできていると、よく褒められています。それは、池田小での教育、その流れからかと思います。成績に関しても、レベルが低いとは感じられません。また、思いやりもしっかりできていて、周りの人に対して、何かいつも違う様子であれば声をかけたりしています。大人になる上で、一番大事な人間性をしっかりできています。自信をもって言えることです。
- ・池田に住んで、大人だけの意見ではなく、子どもたちも地元のことが大好きで、協力しあっています。

- ・分離型の具体的なメリットが分かりませんでした。もう少し分かりやすく、メリットを示していただきたいです。市が考える適正学校は、もう一度考えていただきたいと思うところです。池田小に子どもが通っていて、不便・不満に思ったことは今のところありません。逆に、ここに通っていたからよかったと思うことが多いです。
- ・説明が理解できない。池田小の今の現状は、子どもたちが伸び伸び明るく素直に育っています。このままの状態を残してほしいです。地域等の方々も心配しています。今すぐにと
いうわけではないでしょうが、今の池田を残してってください。池田の方々は、池田愛
がたくさんあります。このままを希望します。
- ・池田小を残してほしい。

